

教科等別年間指導計画

学年	2	教科 目標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。				
教科	技術・家庭 (技術)						
授業 方法 形態	一斉授業 グループ学習 個別学習		先生 から 一言	パソコンの基本的な操作を身につけて、他の教科や総合的な学習での調べ学習などでパソコンが有効利用できるようなになる。日常から簡単な仕組みの機器の保守点検を進んで行ってほしい。また、ものづくりの楽しさを知ってほしい。			
月	単元名	単元のねらい、内容		評価規準・方法等		総合的な学習、ことばの教育、環境教育、情報教育等との関連	時数
4	情報とわたしたちの生活 第2章 コンピュータの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータでできることを調べ、自分がやりたいことを考える。 ・基本ソフトウェアや、応用ソフトウェアの働きや違いについて調べる。 ・文書処理ソフトウェアを使い文章の入力方法を理解する。 ・文書処理ソフトウェアで見やすい文字配置やフォントの拡大などの方法を身につける。 ・文書処理ソフトウェアでパンフレットを作成する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを利用すればどのようなことが能率よくできるか理解できる。 ・OSとアプリケーションの違いや利用法を理解できるか。 ・ワープロソフトの基本的な操作法が身に付いている。 ・ただ文字を入力するだけでなく、見栄えがしたり読みやすい工夫をした文書の作成ができる。 		調べ学習をした内容をパソコンを使ってまとめの冊子などが作成できる力を身につける。	11
5							
6							
7							
9	技術とわたしたちの生活 第3章 機器の仕組みと保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・構想図を見て、第三角法に表すことができる。 ・電気回路の構成をまとめる。 ・回転運動を伝達するしくみを調べてまとめる。 ・身の回りで使われている機器の共通部品について調べる。 ・家庭や身の回りで使われている機器の、日常の保守と点検をする。 ・電源プラグやヒューズの構造や、取り付け方法を理解する。 ・電気による事故防止についてまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・立体の図を見て第三角法で表すことができる。 ・図記号を使い簡単な回路図が書ける。 ・機械の運動伝達の仕組みが理解できる。 ・身の回りの機器などに使われている共通部品を見つけ出せる。 ・簡単な仕組みの機器の保守点検の方法が理解できる。 ・電源プラグなどの配線が理解できる。 ・感電や漏電の仕組みがわかり、それを防止する方法が理解できる。 		13	
10							
11							
12							
1	第4章 エネルギーの変換と利用	<ul style="list-style-type: none"> ・自然界のエネルギー資源をどのように生活に生かしているか考え理解する。 ・電気エネルギーを他のエネルギーに変換する例を調べてまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中でエネルギーがどのように利用されているか理解できる。 ・電気エネルギーが他の形のエネルギーに変換されて利用されている仕組みが理解できる。 ・生活の中で電気が多く使われている理由が説明できる。 ・簡単な配線器具の組み立てが適切に行える。 ・電源プラグの配線(実技)が適切に行える。 		10	
2							
3							
	第6章 技術とものづくりの未来	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の保全と技術について調べる。 ・省エネとリサイクルを重視した技術について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境を守るために、これから考えたり実行できることは何か説明できる。 		地球環境に配慮した生活を身につける。	2